

# 体験活動推進プロジェクト 防災キャンプ推進事業

## 岡山県防災キャンプ推進事業

岡山県

### 【事業のポイント】

- 岡山県6市町において、今後発生が予想される南海トラフ巨大地震のほか、地域がこれまで経験した水害、土砂崩れ等の大規模災害を背景に計画
- 事業効果の向上と広がりを持たせるため、県、市町とも関係 各課や地域団体と連携して事業を実施



避難所設営体験

## 1. 企画

### (1) 事業実施の背景

岡山県は、全国に比べ災害が少ないことで知られているが、その結果、住民の防災に関する意識が低いことが様々な調査等で示されている。昨年度、実施した県内3カ所での防災教育キャンプの参加者アンケートからも同様の傾向が明らかになっている。

しかし、岡山県においても、南海トラフ巨大地震では県南部では、最大震度6強の揺れが発生すると予測されているとともに、近年、夏季において集中豪雨も頻繁に発生していること等を踏まえると、防災意識の低い岡山県であるからこそ、防災意識の高揚に向けた取組が不可欠である。

昨年度の防災キャンプ事業では、子どもを中心に据えた防災体験活動を行うことで、子どもたちだけでなく、地域の大人たちの防災意識も確実に向上したことから、県内の全市町村において、防災キャンプを実施し、それぞれの地域の地理的特性に応じた災害対応のノウハウを蓄積していくことが必要と考える。

### (2) ねらい

今年度は、6市町において防災キャンプ事業を実施することにより、県内への浸透を図りたいと考えている。

また、今年度の事業の実施に際しては、県・市町村の関係各課が連携し、昨年度からの課題を踏まえた次のプログラム等も取り入れ、事業効果の向上と広がりを持たせたいと考えている。

- ①防災弱者となりがちな住民への配慮のあるプログラム
- ②ユニバーサルデザインの視点を取り入れたプログラム
- ③自主防災組織を活用したプログラム
- ④保護者を参画させたプログラム
- ⑤高校生ボランティアリーダーを参画させたプログラム

## 2. 事業概要

### (1) 運営体制

○岡山県防災キャンプ推進事業実行委員会  
 <事業推進上の連携、事業の情報発信、フォーラム等の開催>

- ・岡山県危機管理課
- ・岡山県くらし安全安心課
- ・岡山県教育庁保健体育課
- ・岡山県教育庁人権教育課
- ・岡山県教育庁生涯学習課
- ・笠岡市教育委員会生涯学習課
- ・美作市教育委員会社会教育課
- ・矢掛町教育委員会教育課
- ・和気町教育委員会社会教育課
- ・早島町教育委員会生涯学習課
- ・里庄町教育委員会事務局

○実施市町村実行委員会  
 <事業の計画・実施・普及啓発>

- ・笠岡市(笠岡防災キャンプ企画運営委員会)
- ・美作市(大原小学校区防災キャンプ企画運営委員会)
- ・矢掛町(矢掛町防災キャンプ企画運営委員会)
- ・和気町(和気町子ども塾防災キャンプ企画運営委員会)
- ・早島町(早島町防災キャンプ企画運営委員会)
- ・里庄町(里庄町防災キャンプ企画運営委員会)

### (2) 開催実績

月 日	内 容
5月21日	□第1回岡山県防災キャンプ推進事業実行委員会
6月11日	・第1回大原小学校区防災キャンプ企画運営委員会(美作市)
6月20日	・第1回笠岡市防災キャンプ実行委員会(笠岡市)
6月21日	・第1回早島防災キャンプ企画運営委員会(早島町)
6月26日	・第2回大原小学校区防災キャンプ企画運営委員会(美作市)
7月9日	・第1回笠岡市防災キャンプ防災部会(笠岡市)
7月10日	・笠岡市防災キャンプ総務部。食糧部会(笠岡市)
	・第1回矢掛町防災キャンプ事業企画運営委員会(矢掛町)
7月12日	・第1回和気町防災キャンプ企画運営委員会(和気町)
7月13日 ～14日	・大原小学校区防災キャンプ(美作市)
7月19日	・第2回笠岡市防災キャンプ実行委員会(笠岡市)
7月23日	・第2回笠岡市防災キャンプ実行委員会(笠岡市)
7月25日	・里庄町防災キャンプ企画運営委員会(里庄町)
7月27日	・和気町子ども塾防災キャンプ事前講習会(和気町)
8月3日 ～4日	・和気町子ども塾防災キャンプ(和気町)
8月6日	・第2回早島町防災キャンプ企画運営委員会(早島町)
8月9日	・第2回和気町防災キャンプ企画運営委員会(和気町)
8月24日 ～25日	・早島町防災キャンプ(早島町)
8月28日	・第2回矢掛町防災キャンプ事業企画運営委員会(矢掛町)
8月29日	・第2回笠岡市防災キャンプ実行委員会(笠岡市)
9月5日	・第3回早島町防災キャンプ企画運営委員会
9月13日 ～14日	・里庄町防災キャンプ(里庄町)
	・矢掛町防災キャンプ(矢掛町)
9月17日	・第4回笠岡市防災キャンプ実行委員会(笠岡市)
9月19日	・第3回大原小学校区防災キャンプ企画運営委員会
9月21日 ～22日	・笠岡市防災キャンプ(笠岡市)
12月15日	□岡山県防災キャンプフォーラム
2月6日	□第2回岡山県防災キャンプ推進事業実行委員会

### 3. 防災キャンプ実施概要

#### (1) 運営体制

笠岡市(笠岡市防災キャンプ)

キャンプ参加: 地域の小学生, 地域住民

運営: 保護者, 地域の各種団体, 行政機関

#### 【実行委員会】

総務部: 大島公民館, 社会福祉協議会大島支部, 民生委員・児童委員, 老人クラブ

食糧部: 愛育委員, 栄養委員, 倉敷かさや農協女性部

防災部: 大島地区まちづくり協議会, 大島小学校PTA, 消防団大島分団, 大島小学校

笠岡市教育委員会生涯学習課, 笠岡市危機管理部危機管理課

#### (2) 実施内容

9月21日(土)

10:00	オリエンテーション	趣旨説明, プログラム説明
10:15	避難所づくり	ダンボールベッドの制作(指導: 生涯学習課)
12:00	昼食	非常食(アルファ米)
13:00	防災工作	新聞スリッパ, アルミ缶ランプ, ペットボトル皿, ビニール袋カップの制作(指導: 生涯学習課)
14:30	おやつ	ふかしいも
15:00	東日本大震災体験談	南三陸町ボランティアガイド芳賀タエ子さんの講話
16:30	救急対処法& 救急救命法	毛布で担架, ストッキング包帯, 体温の保温法体験(指導: 日本赤十字社)
18:00	夕食	缶詰シーチキンカレー, ハイゼックス袋ごはん
19:30	キャンドルスター ナイト	アルミ缶ランプでキャンドルナイト, 復興への祈り, 星の観察(指導・進行: 地域住民)
21:00	就寝準備	着替え, 歯磨き等
21:30	就寝	



ビニール袋カップづくり

9月22日(日)

6:00	起床	着替え, 洗顔, トイレ等
6:30	ラジオ体操	
6:45	ダンボールベッド片づけ	ダンボールベッドの片づけ
7:30	朝食	ごはん, みそ汁
9:00	防災訓練	煙道体験, 水消火器, 土のう積体験, 消防車展示(指導: 消防, 危機管理課, 消防団)
11:00	全体の振り返り	講評, アンケート
11:30	解散	



芳賀さんの講話

## (1)運営体制

美作市(美作市防災キャンプ)

- ①自主防災会・防災士 防災キャンプ全般の運営・進行管理
- ②美作市消防団・美作市(大原総合支所) 防災についての学習のサポート
- ③大原小学校PTA 災害時のルール学習の指導及び避難所作り体験のサポート
- ④美作市消防本部 応急手当講習及び起震車体験の指導
- ⑤美作市社会福祉協議会 避難所作り体験のサポート
- ⑥美作市(総務課) 防災キャンプ全般のサポート及びハザードマップ・防災マップ学習の指導
- ⑦美作市教育委員会 防災キャンプ全般の進行管理

## (2)実施内容

【7月13日】

〈集合・受付〉13:00～

〈開講式〉13:30～

・オリエンテーション

〈実習1〉14:00～

・被災時のルールを学ぶ

①災害への備え／②災害が発生したら／③災害直後の処置

〈実習2〉15:30～

・避難所作り体験

①避難所開設準備／②避難所運営のための組織作り

〈実習3〉18:30～

・班ごとの活動体験

①避難所の管理(総務班)／②避難者の把握(名簿班)／③食事作り(食事班)／④配給物資の管理(物資班)／⑤簡易トイレの管理、清掃場所の割当て作業(保健班)

〈夕食・片付け〉19:00～

〈フリートーク〉20:00～

・地域を知ろう

①大原地域ってどんなところ／②様々な災害とその対処を知ろう



防災マップの作成

(1) 運営体制

○主管

- ・和気町教育委員会 社会教育課
- ・和気町役場総務課(消防・自主防災組織担当)
- ・防災士(自主防災組織担当)
- ・和気町役場健康福祉課(保健師・栄養士)
- ・和気町介護保険課(保健師)
- ・和気町B&Gインストラクター
- ・和気町消防団
- ・和気町栄養改善推進委員
- ・地域ボランティアスタッフ
- ・和気閑谷高等学校生徒ボランティア
- ・岡山県地球温暖化防止活動推進員
- ・東備消防組合
- ・和気町立藤野小学校(養護教諭)
- ・和気町子ども塾(塾生・保護者)
- ・高齢者団体(実年会・のぎくの会)

○運営協力者

○参加対象者

(2) 実施内容

○事前講習



川崎医療福祉大学教授による講話  
「災害・防災について学ぼう！」



災害時に役立つ工作  
「新聞スリッパ作り」

○防災キャンプ(1日目)



話し合いタイム(めあて)



防災士による講話



ハザードマップ確認



バケツリレー



UDに配慮した避難所作り(ダンボールベッド)



炊飯袋・非常食体験



リラックス体操・就寝



## ○防災キャンプ(2日目)



アルファ化米の朝食



土のう積み体験



増水時の救助艇体験



話し合いタイム  
(振り返り)



参加者記念撮影

### (1)運営体制

#### 早島町(早島町防災キャンプ)

生涯学習課が事業の取りまとめを行い、総務課防災担当者、消防団、防災ボランティア団体と検討を行った。

一般への参加募集と救命救急・防災講習会の詳細打合せを生涯学習課が行い、自主防災組織への参加者募集については総務課が行った。

当日の運営については、段ボールベッドの設置と防災グッズの展示をを総務課、炊き出し訓練と記録写真撮影を生涯学習課、救命救急・防災講習会を防災ボランティア団体が行った。

### (2)実施内容

期 日 平成25年8月24日(土)~25日(日)

会 場 早島小学校体育館

日 程 8月24日(土)

16:00 開会・避難所設置(段ボールベッド等)※最初は全員で

16:30 カレーライスを自炊(炊き出し訓練)※約6名が担当  
夕食

20:00 救命救急・防災講座(早島BLS)

21:30 段ボールベッドで一泊

8月25日(日)

7:00 起床

7:30 缶パン、缶スープで朝食

8:00 閉会・解散



段ボールベッド作り

(1)運営体制

里庄町(里庄町防災キャンプ)

- ・里庄町教育委員会
- ・里庄町(総務課・町民課)
- ・笠岡地区消防組合
- ・里庄町消防団

(2)実施内容

9月13日(金)

- |       |                |   |
|-------|----------------|---|
| 17:00 | 【集合・オリエンテーション】 | 開会挨拶 諸注意  |
| 17:30 | 【給水車設置】        | 給水車からの水くみ   |
|       | 【仮設トイレ設置】      | マンホールトイレを設置する   |
| 18:00 | 【夕食】           | 非常食を食べる   |
| 19:00 | 【避難所設営】        | 実際の避難所での状況を学び、各自でダンボール<br>ベッドを作成し、就寝スペースをつくる。                   |
| 20:00 | 【防災学習】         | 被災地支援者による講演<br>(講師:重見信彦)<br>地域防災計画及び防災マップ説明<br>(講師:総務課長補佐 岡本幸広) |
| 21:30 | 【就寝】           |   |

9月14日(土)

- |       |        |   |
|-------|--------|---|
| 6:30  | 【起床】   | 片付け 身支度   |
| 7:00  | 【朝食】   | 非常食を食べる   |
| 8:00  | 【体験学習】 | 消火器の使用法、簡易担架作成、応急処置の実習<br>(講師:笠岡消防署員)<br>ハイゼックスを使用した非常炊飯<br>(講師:日本赤十字社職員) |
| 12:00 | 【閉会】   | まとめ   |



マンホールトイレの設

(1)運営体制

矢掛町(矢掛町防災キャンプ)  
矢掛町(総務企画課 防災関係部局)  
矢掛町消防団  
井原地区消防組合  
矢掛町教育委員会(事務局)

(2)実施内容

日 時	プログラム	プログラム詳細	日 時	プログラム	プログラム詳細
9月13日(金)			9月14日(土)		
16:00	集合・オリエンテーション	開会挨拶・諸注意等の説明	6:30	起床	各自起床・身支度 就寝スペース・毛布の片付け
16:20	防災マップ確認	防災マップを確認し、意見交換を実施	7:00	朝食	火おこし体験をし、非常食を食べる。
17:00	体験実習	災害が発生した際の心構え等の講話 簡易担架作成法、応急処置等の実習 (講師：井原消防署矢掛出張所員)	8:00	体験実習	AEDを使用した救命処置等を学ぶ。 起震車体験を行う。 (講師：井原消防署矢掛出張所員)
18:30	夕食	非常食を食べる。	11:00	昼食	カレー(レトルト)を食べる
19:00	ふれあいサロン作成(4年)	体育館の中に異年齢間での交流が出来る スペースを作成する。	11:30	まとめ	
	防災グッズ作成(5年・6年)	灯り、コンロといった防災グッズを作成 する。	11:40	閉会	閉会挨拶
20:00	避難所設営体験	避難所での個別スペースの重要性を学んだ 後、各班でダンボール・ガムテープを使用 し就寝スペースを作成する。			
21:00	就寝				



起震車体験



簡易担架作り



防災グッズ(灯り)作り



#### 4. 普及啓発の実施概要

##### ○岡山県

防災キャンプフォーラムを実施し、取組を県内関係者に広く発信した。実践の様子を掲載したリーフレットを作成し、県下防災担当課、教育委員会、公民館等へ配付した。

##### ○笠岡市

市広報誌、笠岡市ホームページにて取組を紹介した。

##### ○美作市

市広報紙、地元新聞、地元ケーブルテレビにて取組を紹介した。

##### ○和気町

町広報誌、和気町ホームページに実施報告を掲載した。

##### ○里庄町

町広報紙、地元新聞、地元ケーブルテレビにて取組を紹介した。

##### ○矢掛町

町広報紙、地元新聞、地元ケーブルテレビにて取組を紹介した。

#### 5. 成果と課題

##### (1) 事業成果

○参加した子どもたちや地域住民が、仮の避難所生活を体験し、また避難所生活を実際に経験された方の講話を聞くことにより、改めて災害の恐ろしさや避難所生活の厳しさ・大変さを実感することができた。

○これまでに避難所を運営したことがない行政側と避難所を経験したことがない一般住民とで一泊二日で避難所を体験したことが一つの成果であり、体験することで、お互いが協力し合うことの大切さ、不便さ、難しさがわかった。また、子どもを過度に特別扱いする必要はなく、子どもたちにも出来る役割を与えることで子どもたちも自覚し成長できると感じた。

○子どもを通じ、地域の課題や問題などを共有し、大人も子どももそれぞれの立場で真剣に地域づくりについて考えるという取組をはじめて実施したが、今回の取組は今後の地域における子どもの体験活動のあり方を考えることができただけでなく、子どもを中心に据えた地域づくりを行うことで、地域が元気になり、活気づくことがわかり、新たな地域づくりのヒントになったことは収穫であった。

○複数機関と連携して実施することにより、プログラムの幅が広がった。また、これを機会に協力機関との新しいつながりが形成され、かつ地域での継続的な防災学習の必要性を皆で実感した。

○地域ボランティアの支援のおかげで、「自分の住む地域には、防災対策に協力してくれている人たちがいる」ということを参加者が実感することができた。特に高校生ボランティアは、子どもの目線にも近く、運営スタッフとしての協力だけでなく、参加者(小学生)との交流を深めてくれたため、参加者は終始安心して活動に取り組むことができていた。

○実施したアンケートには「災害への備えをしていきたい」「家族で話し合う機会を設けようと思う」という意見があり、参加者の防災意識の高揚にも寄与できた。

##### (2) 事業運営上の課題・留意点

○全体的に緊迫感が足りなかったため、各体験の中で「楽しかった」で終わらせず、「実際になったら、本当に大変だな」と実感できる場面や危機感や不自由感をもたせることができると、より有意義だった。

○班での「話し合いタイム」を、始めと終わりにのみとった。各体験後に振り返る時間を設定すると、より深まったのではないかと。

○体験内容が多く、スケジュール的にハードだった。参加者の年齢層が、幼児から高齢者と、幅広かったため、体験の対象年齢を設けた方が良いものもあった。

○学年を決めて毎年行った方がいいと思う。心得のある人がいるのといないのとでは随分違うと思った。

○係などの仕事をもっと増やすなどして欲しかった。

○高齢者の参加がなかったため、高齢者にも参加してもらえるよう、募集方法・プログラムを検討する必要がある。

○もっと多くの子どもたち、地域住民に参加してもらいたい。しかし、大人数となると今回のプログラムを行うのは難しい。

○参加していない地域住民への防災教育・啓発をどのように行っていくか、課題となる。

##### (3) その他

平成26年度は、3市町が実施を希望している。3市町とも、25年度実施した市町であり、今年度の反省を生かし、発展した内容となるよう工夫して実施したいと考えている。

#### 6. 団体プロフィール

岡山県教育庁生涯学習課

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

TEL:086-226-7595

FAX:086-224-2035